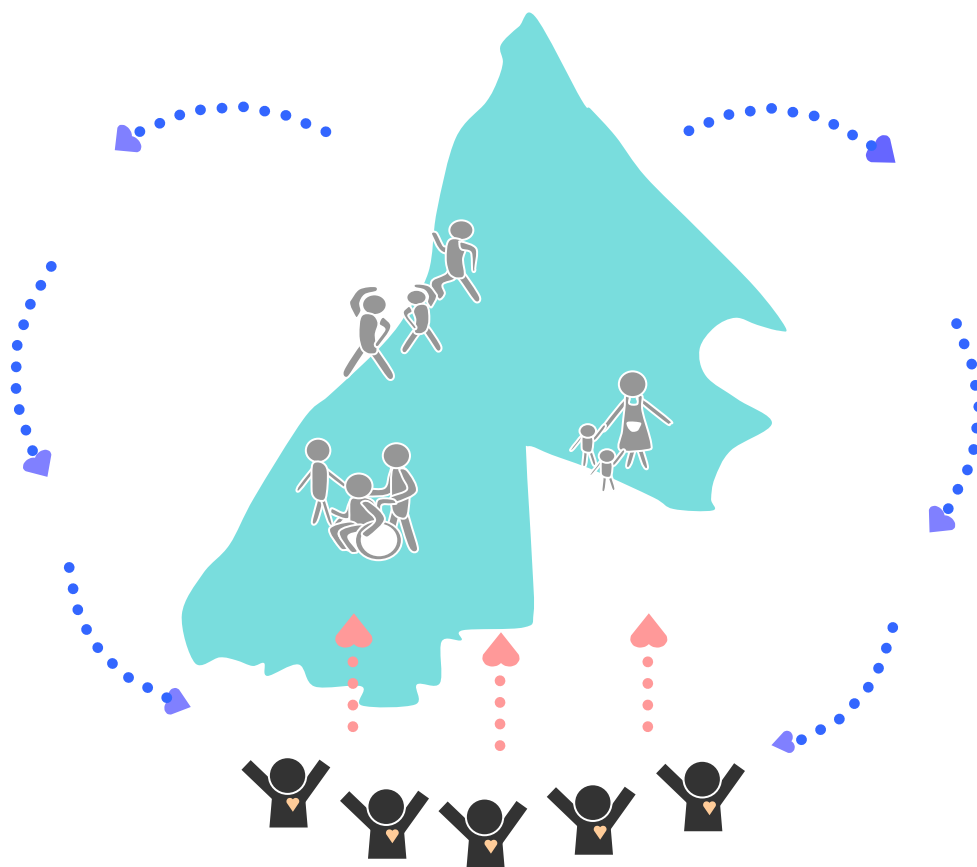


令和4年度
「すみだの力応援成事業」「すみだの夢応援成事業」
実施報告会
プログラム



令和5年5月14日（日）午前9時～
墨田区役所13階 131会議室
墨田区 地域力支援部 地域活動推進課

目 次

はじめに	2
プログラム	
■ 実施報告会スケジュール	3
■ 実施報告会の方法（ルール）	3
令和4年度「すみだの力応援助成事業」一覧	4
令和4年度「すみだの夢応援助成事業」一覧	5
すみだの力応援基金 令和4年度 運用状況	7

はじめに

墨田区では、地域の課題解決に向けて、区民の皆さんと区が、ともに考え、ともに行動する「協治（ガバナンス）によるまちづくり」を推進しています。そのような中、平成24年3月、「墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金条例」を制定し、この条例に基づき、同年4月、「すみだの力応援基金（協治（ガバナンス）まちづくり推進基金）」を設置しました。

「すみだの力応援基金」は、皆さんからの寄付等を財源として積み立て、区民等が自主的・主体的に取り組むまちづくり活動を資金面から支援するものです。基金が設置された平成24年4月からの11年間、総額約2,468万円の寄付を皆さんからお預かりし、当基金に積み立て、「すみだの力応援助成事業」として様々な団体への支援を行ってまいりました。

また、平成29年度から当基金を活用した新たな助成の枠組みとして「すみだの夢応援助成事業」を開始しました。応援するプロジェクトを指定して寄付することができるクラウドファンディング型の助成事業で、令和4年度までの6年間で総額約2億5,014万円の寄付が集まりました。

さて、本日の実施報告会は、令和4年度に「すみだの力応援基金」を活用し、事業を実施した団体の皆さんから、その取り組みについてご報告していただき、活動成果を確認するものです。皆さんからの寄付を原資とする「すみだの力応援助成事業」及び「すみだの夢応援助成事業」を通じて、区民同士の支えあいによる地域社会の実現を目指すなど、「協治（ガバナンス）によるまちづくり」の一層の促進を図ることとします。

..... プログラム

■ 実施報告会スケジュール

開始時間	団体名	事業名
9:00～	報告会開会(挨拶・説明)	
すみだの力応援助成事業		
9:05～	すみだ新製品開発プロジェクト	災害時には地域支援ができる 移動図書館リヤカー事業
9:18～	特定非営利活動法人すみだ多文化共生交流会	暮らしでつながる多文化交流
すみだの夢応援助成事業		
9:31～	特定非営利活動法人声とことばの力	シニアの経験と知恵をこどもたちの未来に活かす～SUMIDA こども未来応援団プロジェクト～
9:44～	株式会社セラピア	IT技術で墨田区を元気に！小中学生スマホアプリコンテストの開催
9:56～	休憩	
10:10～	特定非営利活動法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会	「もっと広げたい！まちなか農園 !! すみだに蛍の名所をつくりたい！」
10:23～	特定非営利活動法人 Chance For All	墨田の廃材でこどもたちが自由にあそべる 「あそび大学」
10:36～	公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト
10:50頃	閉会	

※各団体による実施報告の開始時間は、プログラム進行の都合上、前後する場合がありますので、予めご了承ください。

■ 実施報告会の方法（ルール）

- (1) 実施報告を行う人数は、各団体3名以内とします。
- (2) 1団体の発表は5分以内とします。助成事業の内容を中心にご報告ください。
発表時間は厳守してください。
- (3) 報告終了後、協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会委員による質疑を7分程度行いますので、要点を簡潔にお答えください。
- (4) 他団体の報告中における入退室は自由としますが、自身の1団体前の報告開始時間には、入室してください。
- (5) 傍聴者の発言など、審査に影響を及ぼす意思表示は認められません。

令和4年度「すみだの力応援成事業」一覧

◆ステップアップ応援コース

(事業の概要は各団体の事業実施報告書の内容より抜粋)

	【団体名】 事業名	助成金額
1	【すみだ新製品開発プロジェクト】 災害時には地域支援ができる移動図書館リヤカー事業	302,000 円
	昨年度製作した災害対応のリヤカー型移動図書館「北斎丸」を使い、月に1回程度移動図書館を開催したり、区内で行われるイベントへ参加しました。大きなイベントの際は紙芝居の読み聞かせや、けん玉・縄跳びチャレンジなどの遊びも実施し、図書館だけではなく区民の交流の場を提供しました。また、このリヤカーは災害時に電源の供給など小さな支援ができるフェーズフリーな仕様となっていることを説明し、防災意識を高めてもらいました。	
2	【一般社団法人SSK】 すみだスーパーキッズキャンプ	500,000 円
	小学校5・6年生を対象に、山梨県で2泊3日のキャンプを行いました。食事の調理をはじめ、生活のすべてを仲間と協力し、自分たちの力で組み立てたり、川遊びやナイトハイク、星空観察などで自然を満喫するとともに、体験学習の手法を用いて、体験したことをしっかりと学びにしました。また、体験活動に関心のある方を対象に、野外活動に関する技術・知識を習得するためスタッフ研修を実施し、ボランティア参加のきっかけとしました。	
3	【特定非営利活動法人すみだ多文化共生交流会】 暮らしでつながる多文化交流	494,000 円
	「多文化交流フェスティバル すみだ万博」を開催し、大人から子どもまで、自然と外国人と交流できる機会を提供しました。ワークショップを通じての交流のほか、外国人には書道や講談などの日本の文化にも親しんでもらいました。また、イベント等で外国人の相談窓口「街角相談室」を開設することにより、外国人の悩みや困難をヒアリングして、行政や専門職につなぐ役割りを担いました。今後より多くの相談者への対応を可能にすることを考え、「LINE」を利用して多言語と24時間相談の受付を可能とするための検証を行いました。	

※一般社団法人SSKは都合により、5月21日（日）に別途報告を行います。

◆スタート応援コース

1	【すみだ未来枠】 すみっこ探検隊！～京島編～	100,000 円
	小学校低学年を対象に、墨田区京島地区（主に京島三丁目）にて謎解き形式のフィールドワークをおこないました。謎解きのコース選定やクイズ作成にあたっては、事前に現地訪問をし、地域のお店へのインタビューや地域調査を実施しました。地域の特徴や街歩きを通し、参加者が日々の生活に溶け込んでいる「当たり前の風景」に目を向けて、その魅力を発見する機会をつくとともに、小学生親子参画、地域のお店、当日運営スタッフである学生間の交流の機会も醸成しました。	

※スタート応援コースは書類審査のみのため、実施報告会への参加はありません。

令和4年度「すみだの夢応援成事業」一覧

	【団体名】 事業名	助成金額
1	【特定非営利活動法人声とことばの力】 シニアの経験と知恵をこどもたちの未来に活かす～SUMIDA こども未来応援団プロジェクト～	2,038,000 円
	こども、シニア両面から少子高齢化の課題解決を目指し、日常的な交流の場を創設しました。区内のシニアを中心に、こどもの健全育成の支援者となる「未来応援団員」を募集し、東向島児童館にて各期説明会、2日間の研修、3日間の交流会、1日の反省会を実施しました。本事業を全国の支援者に発信するため、研修・交流会の様子を撮影、プロジェクトのPR動画を作成しました。	
2	【株式会社セラピア】 IT技術で墨田区を元気に！小中学生スマホアプリコンテストの開催	595,000 円
	墨田区の産業をもっと元気にするために、将来を担う若手に向けて IT 人材教育及び産業とのコラボレーションを行いました。墨田区の小学4年生から中学生に2ヶ月間のスマホアプリの作り方講座を提供し、同時に、作ったアプリを披露する場としてアプリコンテストを行いました。コンテストには区内の企業をお招きし、アプリの発表の場としてだけでなく、技術を持った小中学生と区内の企業とのコラボレーションのきっかけを作りました。	
3	【特定非営利活動法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会】 「もっと広げたい！まちなか農園 !! すみだに蛍の名所をつくりたい！」	1,761,670 円 (※1)
	「墨田区に蛍の名所をつくる」ことを目指し、環境への関心のある地域内の小学生～大学生を巻き込んで、自然エネルギーを中心とした「ビオトープの水循環システム」を創り上げました。井戸掘りやかいぼりイベントなども行い、地元企業や地域の方々とも協力・交流しながら完成させました。また、ウッドデッキ広場に設置する日除けテントを、ワークショップ形式でアイデアを出し合いながら制作しました。	
4	【特定非営利活動法人 Chance For All】 墨田の廃材でこどもたちが自由にあそべる「あそび大学」	2,402,385 円
	町工場から提供いただいた素材を使つての物作りや素材遊び、屋外で体をつかって遊ぶなど自分の意思で過ごし方を選べる場である「あそび大学」を月1回開催しました。また、夏休み特別企画として『なつなあそび大学“こどもの国”』を実施しました。こどもたちの中からリーダーを募り3ヶ月かけて企画から一緒に行い、夏休みに1週間、リーダーが中心となって自分たちでこども主体の街を作り上げるプロジェクトを行いました。	

	【団体名】事業名	助成金額
	【公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団】 新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト	38,271,590 円 (※1)
5	<p>普段気軽にホールへ足を運ばない方（福祉施設利用者、中高生等）へのコンサート無料招待や、保育園年長を中心とする「音楽づくりワークショップ」の実施、まちかどに出張するミニコンサートの開催など、区内外の人たちに本格的な音楽に触れる機会を提供しました。また、井上道義氏総監督のミュージカル・オペラの上演（世界初演）を行いました。</p>	

※1 当初申請した目標額を超えた場合、すみだの夢応援助成金交付要綱第6条第2項の規定により、超えた分の額に100分の5を乗じて得た額に消費税及び地方消費税を付加した額を差し引き、助成金交付額を計算している

すみだの力応援基金 令和4年度 運用状況

年度	積立・助成		
令和3年度末 基金残高			8,835,971 円
令和4年度	積立	利子	1,734 円
		寄付 (145 件) (基金への寄付)	2,289,181 円
		寄付 (498 件) (プロジェクト指定寄付)	45,303,385 円
	助成	すみだの力応援助成事業 (4 団体)	1,396,000 円
		すみだの夢応援助成事業 (5 団体)	45,068,645 円 (助成外繰入れ 234,740 円)
令和4年度末 基金残高			9,730,886 円

□ すみだの力応援基金 令和4年度寄付者の皆さま (五十音順)

アサヒ飲料販売株式会社 様	株式会社フクシ・エンタープライズ 様
東信用組合 様	マークフロントタワー曳舟管理組合 様
岡部株式会社 様	特定非営利活動法人
株式会社オリハラ 様	燃えない壊れないまち・すみだ支援隊 様
株式会社ジェイコム東京すみだ台東局 様	外 匿名 1 名 様、 9 団体 様
株式会社ダイエー 様	

1 名・18 団体 (延べ 145 件) の皆様から 2,289,181 円のご寄付をいただきました。
誠にありがとうございました。

令和4年度
「すみだの力応援助成事業」「すみだの夢応援助成事業」
実施報告会

発行

墨田区

令和5年5月